Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

遊んで、学んで、楽しんで！

設置店募集！

2022 秋

VOL. 37

「自然が好き」で世界を変える――
公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は
ネイチャーゲームをはじめとする
シェアリングネイチャー活動をとおして
「自然が好き」な人を増やし
人が自然を尊重し共生していく社会の実現を
目指しています。

特集
interview

イラストレーター／鳥の小物作家
piro piro piccolo（ぴろ ぴろ ぴっころ）

「鳥が好き」から広がる世界

イワヒバリが私にくれたもの。

Nature Game No.099
動物と木の不思議を体験〈ごちそうはどこだ〉

Nature Game No.035
森の中でじっくり鳥と過ごす時間〈とまり木〉

Nature Game No.122
わらしべ長者の自然さんぽ〈わらしべウォーク〉

Nature Game No.152
自然大好き!〈しぜんのだいすきだいじさがし〉

Nature Game No.032
食う食われるの関係を疑似体験〈コウモリとガ〉

https://www.naturegame.or.jp/

Contents

●特集／イワヒバリが私にくれたもの。…p2
●体験と学びを深めるネイチャーゲーム（松本信吾）保育とSDGs…p8
●ネイチャーゲームリーダーのあるある／〈コウモリとガ〉…p10

「自然が好き」で世界を変える
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会
SharingNature®

スポーツくじ toto BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています

SNL-vol.37号 特別付録

piccolo さんの わくわく 鳥さがし

【あきふゆのとり編】

piro piro piccoloさんが「秋〜冬」の野鳥観察におすすめする、身近な場所で出会える鳥6種！お家の近くの公園や川、池などで探して、個性豊かな暮らしぶりを観察してみましょう！

イラスト／piro piro piccolo

コサギ

黄色い靴を履いているような白鷺は「コサギ」。足をブルブル震わせて、びっくりして飛び出てきた魚を食べるよ。

ハクセキレイ

あまり人を気にせず、駐車場でトコトコトコ。尾羽をフリフリ動かしながら歩くよ。春にはきれいな歌を歌うよ。

キジバト

家の周りや公園、緑の多いところにいるハトだよ。ポカポカした日には、羽を広げてのんびり日向ぼっこしていることもあるよ。

ハシビロガモ

しゃもじみたいなくちばしで水をぺちゃぺちゃ。みんなで集まって、ぐるぐる回りながらごはんを食べるよ。

ツグミ

「ダルマさんがころんだ」みたいにタタタッと走ってはピタ！タタタッと走ってはピタ！原っぱでミミズを探して食べるよ。

ハシブトガラス ハシボソガラス

身近に見られるカラスは2種類！カァカァ鳴くのがハシブトガラス。ガーガーお辞儀しながら鳴くのがハシボソガラスだよ。

イワヒバリが私にくれたもの。

「鳥が好き」から広がる世界

野鳥の姿だけでなく、鳴き声やしぐさをかわいいイラストとクスっと笑える描写で紹介する本『なつのやまのとり』。著者のpiro piro piccoloさん（以下piccoloさん）とpiccoloさんが自主制作した同タイトルの冊子を発見し、〝鳥愛〟を感じ取って書籍化を企画した大武美緒子さんのおふたりに、野鳥観察の楽しみ方とそこから広がる自然への思いを伺いました。

大武です。以前、SNLの特集を担当していたライターです。今回はpiccoloさんの「鳥愛」をお伝えしたくて登場しました〜

otake

山に行く目的は野鳥に会いに行くため、というほど鳥を愛するpiccolo さん。鳥の魅力はどんなところにあるのでしょう。

「一番は翼があって飛べることでしょうか。小さい体で飛べることがすごいし、その姿にあこがれもあります。大きな鳥が翼を羽ばたかせずに飛び続ける様子や、その構造、機能美も好きです。

あとは、重なる部分もありますが、海を渡って違う国に行ける自由さも魅力です。私の知らない美しいものを見たり、いろいろな場所に行ったりしたのだろうな、と思うとうらやましいです。

そして、鳥はあらゆる環境にいます。それは鳥を観察する点で、どこに行っても楽しめるということ。種類は違っても、鳥は海にも山にも地球上のどこにでもいます。普通の生活で、ほかの哺乳類を見ることは多くありませんよね。身近な生きものであることも魅力だ

特集
interview

イラストレーター
鳥の小物作家

piro piro piccolo

多摩美術大学卒業。イラストレーター。大学卒業と同時期に野鳥観察を始め、野鳥をテーマにイラストや小物を制作。自然の中でただひたすらに生きている野鳥の姿を多くの人に伝えることを目標に、かわいらしく親しみやすいイラストを心掛けている。ウェブサイト　https://iirotorii.tumblr.com

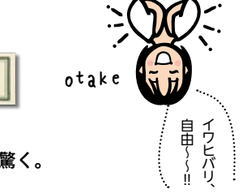
●取材・文／茂木奈穂子　●鳥イラスト／ piro piro piccolo　●イラスト／いのうえみさお

●『なつのやまのとり』（山と溪谷社）より転載（p.4下・p.6を除く）

と思います」

本格的にバードウォッチングを始めて10年。鳥愛が深まるきっかけとなったのは高山で出会ったイワヒバリの〝自由な姿〟でした。

「ふだん街中で見る鳥と違って、『こんなに近づいてきていいの!?』とこちらが驚くほど人を気にしない姿がおもしろくて。自然の中では、鳥にとって人間は脅威じゃないんだな、先祖代々、人間のことを気にせずに生きてきたんだな、と感じたんです。とてもうれしくなって、それから野鳥に会うためにに、山に登るようになりました」



イワヒバリ

人なんて気にしない。
気づくと足元にいて、こちらが驚く。

勝手に写真に入り込んでいる鳥(あとで気づく)。

> 鳥は秋になると低地に下りてくる。
> 家の窓から見える日常の風景が
> 実ははるかかなたの大自然と
> つながっている

山々で見た鳥が、実は秋になると身近な公園に下りてきて、それを探すのも楽しいとpiccoloさん。

「ルリビタキや日本で一番小さな鳥キクイタダキ、アオジやカケスは、身近な公園で見られることもあるんです。秋から冬は、木々の葉が落ちて見つけやすいうえに、鳥のしぐさや動き方がわかりやすいので、おすすめの季節ですよ」

大武さんが続けます。

ルリビタキ

ルリビタキだよっ
と、さえずりを聞きなすのが有名。
しかし個人的には、
キューピー〇分クッキングのオープニング曲を
不穏にした音に聞こえる。

「山で見た鳥を身近で見ることで、自宅の窓の自然から、遠くの山々、そこに広がる自然へと思いを馳せることができるんですよね」

遠い山で羽ばたいている鳥が、いつも散歩している公園や、何気なく見上げた空にもいるなんて、わくわくしてきます！ 鳥は、身近な自然と遠くの大自然をつなげてくれる存在なんですね。

あまり人を気にしないらしく、登山道にも現れる。
まだら模様の幼鳥たちが特に無邪気

> ただひたすらに生きている鳥。
> その生態を通して、自然のおもしろさや、
> 鳥の不思議な暮らしが見えてくる

『なつのやまのとり』には野鳥の生態、健気(けなげ)で一生懸命な求愛、子育ての姿も描かれています。そこにはpiccoloさんがイメージするその鳥の〝っぽさ〟も加わり、より親しみが湧いてきます。

「ホシガラスという鳥は、2000メートル級の山岳地帯でしか見られないので、登山者にとってはアイドル的な存在。天敵がいない時季に子育てをする必要があるので、雪が残ってるときに繁殖をするんです。餌がないので毎年秋にマツボックリの実を取り出し、それをのどに集めて運びいろんな場所に隠しておく。冬を越して翌年の春、子育てのためにその蓄えていた実を使うんです。

でも、隠していた場所を忘れてしまうこともあって、その実がやがてハイマツの木になる。森が広がっていく手助けをしてるんです！ ホシガラスはそんなことを意図しているわけもなく、ただ自然の中で生きてるだけ。実は先祖が作った森で、その子孫たちが暮らしているんですよ。おもしろいですよね」

鳥の生態をより深く知ることが、いままで見えていなかった自然のおもしろさに気づくきっかけになるのですね。

鳥の求愛の様子については「鳥がなぜ、そんな鳴き声やダンスで求愛するのか、何を思っているのかなんてわかりません。想像するしかない。人間にはわからない価値観があるんですよね」とpiccoloさん。

また「たとえば、遠くの木の上で微動だにせず1時間くらいじーっとしている鳥がいるんです。こっちはどんな動きをするのか観察していて『早く動いてくれー』と思っているのに。人間とは違う時間軸なんですよ。人間の気を引こうとしたり、馴れ合おうとしない姿がかっこよくて、ますます魅かれてしまいます」とも。

鳥をよく観察すると、私たちにはわからない不思議な暮らしがあることにも気づかされます。でも、鳥たちは、ただひたすらに生きているだけなんですよね。

キクイタダキ

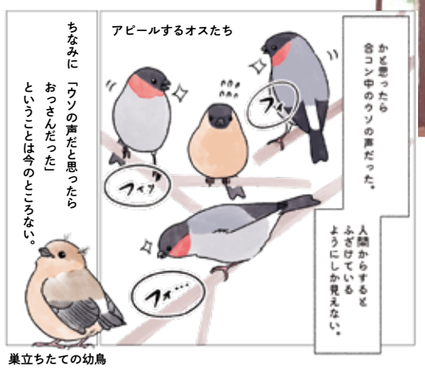
日本最小の鳥の一種。
ホバリングして虫を捕らえたり
ぶら下がったり、
アクロバティックにちょこまかと動く。

求愛やケンカのときなど、
興奮していると頭の黄色い羽が花のように開く。

菊の花を頭(頂き)に乗せているようだから「キクイタダキ」。

アホっぽくてよい

ウソ



巣立ちたての幼鳥

「ぴろぴろぴっころ」は
イタリア語で「イソシギ」。
読者プレゼントの書籍のサインに
「イソシギ」のイラスト
入れてもらいました！

piccoloさんのイラストは
ぜんぶ実際に見たことのある鳥。
その場でしっかり目に焼き付けて…
家に帰ってから描いてるんですよ、
すごい！

ハシブトガラス

- 木の上が好き
- カーカー鳴く
- ピョンピョン歩く

ハシボソガラス

- 開けた所が好き
- ガーガー鳴く
- トコトコ歩く

嫌われものカラスも一生懸命生きている。その生態がわかると親しみが生まれ、とてもやさしくなれると思う

piccoloさんと
お話した人って、み～んな
カラスに惹かれるようになってる
気がするんですよね

otake

鳥の暮らし・生き方を知ると、見え方が変わるとpiccoloさんは続けます。

「カラスはよく『人を襲う』と言われていますけど、なんで襲ってくるかといえば、そこに巣があって、子どもを守りたいから。そういう生態を知っていれば怖くないですよ。

カラスは人が無造作に出しているゴミを、餌だと思って漁っているのであって、人間がゴミをしっかりカバーして工夫をすればいいこと。一生懸命、生きているだけなのに、人のせいで嫌われているように思います。

カラスは枝をくわえてプラプラさせたり、歩いて「カー」、歩いて「カー」と楽しそうに遊んでいるような姿を見せてくれることもあり、余裕があるなと感じます。また、一度パートナーを決めると、生涯添い遂げる律儀な鳥なんです。離婚する鳥もいるんですけどね。

群れにいるのはまだパートナーが見つかっていない若いカラス。2羽でいたら夫婦だなってわかります。いつも見かける場所があれば、縄張りなんだな、なんて。そんなふうにカラスを見ると楽しいですよ」

確かに生態を知ると、ぐっと親しみが湧いてきますね。しかも、とてもやさしい気持ちでカラスを見てみようと思えるから不思議です。

そんなpiccoloさんが描くからこそ『なつのやまのとり』は鳥を感じることの楽しさを知り、鳥や自然へのまなざしを変えるきっかけになるはずと大武さん。この本には、「鳥を好きになって、そのまわりの自然も好きになって、鳥や環境を大切にしていくきっかけの一つになったら」というpiccoloさんの願いが込められているのです。

〝自然の中で共に生きている〟ことを気づかせてくれる鳥たち。鳥たちのおかげで〝私の風景〟が広がる

「鳥を観察しようとすると、目で探すだけでなく、鳴き声に耳を傾けるようになるんです。何の鳥かわからなくても、きれいな声だな、かわいいなと感じるだけで癒されます。

そして、鳥を意識するようになると、身近な鳥に気づくようになり、さらに周りの自然へと思いを馳せられるようになり、ときにはワールドワイドにもなり、私たちの見えていた風景が変わっていきます」

こうした変化は「ネイチャーゲームにも通じますね」と大武さん。

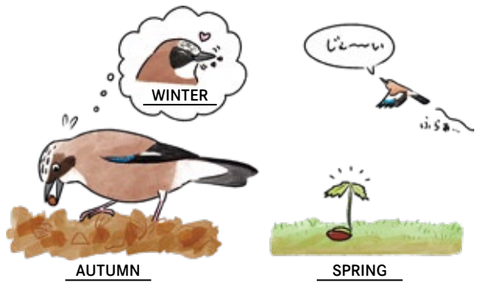
ふと見える鳥の姿、雑踏の中で聞こえる鳥のさえずり……、身近な鳥のおかげで、都会にいても、家の窓を開けた瞬間の景色、屋根の上、遠くの空、そして木々のざわめきなど、いままで気に留めなかった風景に目を向け、音に耳を傾けるようになっていきそうです。

「人とはまったく違う鳥の自由な生き方への憧れが鳥と共存したいという気持ちになり、世界（自然）はまだ良くなる」とpiccoloさん。身近な鳥をきっかけに、鳥と私たちが生きている自然に思いを馳せること。それは、自然へのまなざしが変わること。鳥とともに暮らせる世界を守りたくて、できることをしたいと思ったとき、私たちの見える〝風景〟はもちろん、価値観や生き方も変わっていくのではないでしょうか。

piccoloさんがイワヒバリと出会って、さまざまな自然へと思いが広がるきっかけをもらったように、あなたの〝風景〟を広げてくれる鳥との出会いが、すぐ近くで待っているかもしれませんね。

カケス

「ジェーイ」と鳴くカラスの仲間。
雑食で何でも食べるが、ドングリが好物。
貯食したドングリには忘れられるものもあり、
そのドングリが芽生え、
森と作るのに一役買っている。



集団で変な声で鳴き、　合コンすることも。

必死に聞こえる
「鳥のさえずり」にも
理由があるそうですよ！
…ツクツクポーシって鳴く
鳥もいるらしい…です

これって
SDGsにも
通じるね！

『なつのやまのとり』

piro piro piccolo 著
（1,760円税込／山と渓谷社）

「野鳥ってかわいい！　おもしろい！」――夏山シーズンに、山麓の森から登山道の途中、稜線や山頂付近で見られる野鳥46種を紹介。
ぜひ、本誌の付録（P2）の「piccoloさんのわくわく鳥探し（あきふゆのとり編）」と合わせてお楽しみください。

鳥と親しむネイチャーゲーム

〈ごちそうはどこだ〉

リス、ネズミ、カケスそしてホシガラス…鳥や動物になりきって木の実を隠して遊びながら、貯食する動物と木の実の不思議な関係を体験します。

〈とまり木〉

森の中で、枝分かれした長い枝を垂直に立てて持ち、腰を下ろして布をかぶり、その枝に鳥が止まるのを待ちながら、自然を楽しむネイチャーゲーム。

保育とSDGs って、実は関係あるらしい！

最近、なにかとSDGsという言葉を耳にするようになりました。でも、子ども（とくに幼児）には関係ないと思うでしょう？でも、大事なことも含まれているような…。今回はそのあたりのことを考えてみましょう。

松本信吾
岐阜聖徳学園大学
教育学部教授

1968年福岡県生まれ。
保育者一筋20数年、愛称「シンゴリラ」として子どもたちに大人気の保育研究者。
前任の広島大学附属幼稚園では、園を“森のようちえん”化して、
森での保育を模索・実践し、現在に至る。
著書『身近な自然を活かした保育実践とカリキュラム』（中央法規）

●写真提供／松本信吾

Q.1 QUESTION

あちこちでよく聞くSDGsって、そもそもなんのこと？

SDGs は Sustainable Development Goals の頭文字を取ったもので、日本語に訳すと「持続可能な開発目標」になります。今、世界には気候変動・生物多様性の喪失・資源の枯渇・貧困の拡大などのさまざまな問題があります。SDGs とは、これらの課題解決に向けた目標と取り組みのことです。

もう一つ、ESD という言葉も知っておいてください。これは Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略で、現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組んで（think globally, act locally）、持続可能な社会を実現していく学習・教育活動のことです。

つまり ESD は、「持続可能な社会の創り手を育む教育」であり、現行の幼稚園教育要領や学習指導要領にも書かれています。現代を生きるすべての子どもたちは、持続可能な社会の創り手になることが求められているのです。

SDGsやESDを通して、
子どもたちは持続可能な社会の創り手になる

Q.2 QUESTION

幼児期のSDGsは小学校の先取りをするの？

Q1 で述べたように、幼児期にも「持続可能な社会の創り手となることができるようにするための基礎を培う」ことが求められています。では、具体的に何をするの？ 気候変動の勉強？ ゴミ拾いやコンポスト作り？？

実は、何をするかは書かれていないのです。だから、幼児期の実践で、小学校の前倒しのようなことが行われていることもあります。でも、〝それって、ちょっと違う！〟ことは、小さい子どもたちと関わっている皆さんにはすぐにわかると思います。だって、それだと、いわゆる早期教育と同じになっちゃいますから。

子どもの時期は、頭の中だけで考えるのではなく、身近な環境に遊びなどを通して直接触れて、感じていくことが大事。その原則は変わりません。

遊びなどを通して、自然に直接触れて、
感じていくことが大事

Q.3 QUESTION

幼児期に取り組むSDGsってあるの？

栽培や自然の中の遊びは、
自分を取り巻く環境と
つながっていることを
実感できる

では、幼児期にできること、すべきことってなんでしょう。私は次の3つの経験が大事だと思っています。

❶周りとつながっていることを感じる

土や花びらを使ってままごとをする、バッタを捕まえる、畑でできた野菜をいただくなど、自分の遊びや生活が、自分を取り巻く環境とつながっていることを実感できる経験。

❷一人ひとりの多様さが大事にされ受け止められる

自分なりの表現が保育者や友だちに受け止められる、その子らしさを認め合う、多様な意見を出し合って自分たちの遊びや生活を創っていくなどの経験。

❸自分が生きている世界が大好きになる

身の回りのものや人とかかわって遊んだり暮らしたりするのは、色々あるけどやっぱり楽しい。この取り巻く世界は、自分を受け止め愛してくれているという経験。

幼児期には何かの特別な活動をするよりも、この世界や周りの人とのつながりを感じ、自分を取り巻く環境が好きでかけがえのないものになることが、SDGs の基礎だと思います。

Q.4 QUESTION

身近な大人が「持続可能な社会の担い手」のモデルになるには？

大人の生き方を見て、子どもたちは「あんなふうになりたい」と感じていく

では、子どもたちはどうやって「持続可能な社会の担い手」になっていくのか。それは、身近な大人の生き方を見て、感じて、「あんなふうになりたい」と感じていくのではないでしょうか。そう、SDGs や ESD は、私たち自身が問われている課題なのです。

そのために、大人として2つの態度が大事だと考えています。一つめは、「自然とのつながりを感じ楽しむ」ことです。私たちの生活は、人工的で便利なものの中に埋没しがちです。でも私たち自身が時々、自然の中に足を運んで感性を取り戻し、自然とのつながりの中を生きていることを感じ、自然の中での遊びや生活を楽しむ――そのような姿を示すことが大事だと思います。

もう一つは、困難な問題を「自分ごととして考え取り組み続ける」ことです。現代の課題は、あまりにも大きくて、何をしてよいのかわからないことだらけです。でもそれを他人事にせず、身近な小さいこと、できることから一つでもやっていこうとする。そのような態度が、やがて子どもにも伝わっていくのではないでしょうか。

松本先生も寄稿しているアクティブラーニングの実践書『体験と学びを深めるネイチャーゲーム』。幼児と取り組むネイチャーゲームのヒント満載です！

日本シェアリングネイチャー協会
2,420円（税込）

この本の発行を記念したオンラインセミナーの動画をレンタル配信中！

この秋おすすめのネイチャーゲームはこちら

〈わらしべウォーク〉

〈しぜんのだいすきだいじさがし〉

Report

Event Report 1

珍樹ハンターの世界へようこそ！

2022年9月3日
今関純子（千葉県）

オンラインで、元祖珍樹ハンター小山直彦講師より、珍樹ハントの心得と楽しみ方を学びました。

樹木の幹や枝に、動物や有名人にそっくりな模様や形を見つける体験をしました。想像力を働かせて、樹を見て感じます。樹の見え方や感じ方は、個々で違うことに気づきました。そして、樹を回転させると、見え方が変わります。

小山さんは、樹の成長がわかるように、4~5年後や10数年後に、同じ樹の撮影をされていることに感動しました。奥の深い珍樹ハントの世界に興味をいだき、明日も樹木に目を向けて〝珍樹さがし〟に出かけてみたいです。

Event Report 2

アクティビティ三昧で体験と実践。そして交流を深めよう！

2022年8月11~12日
崎川彰子（岡山県協会）

みんなの良さが詰まった、思いやりに溢れる素敵な1泊2日でした。

県内外から小学生を含む老若男女21名が集い、以前からやってみたかったことを数多く盛り込んだプログラムを体験し、分かち合いました。

夜と早朝のネイチャーゲーム、樹木観察会まであり、実に貴重な体験でした。四季を追ってまた体験してみたいです。

私を新しい世界へと道案内してくれる仲間たちに、感謝します。

被災地復興支援情報

「みちのく潮風トレイル」を歩こう！

2022年8月5日
渡辺謙克（岩手県協会）

みちのく潮風トレイルは、津波で被災した東北太平洋沿岸地域の復興を目的に、地域の自然環境や暮らし、震災の痕跡、ハイカーと地域の人々などを様々に「結ぶ道」としてつくられた総延長1,000㎞を超えるロングトレイルです。

北は青森県八戸市蕪島、南は福島県相馬市松川浦をそれぞれ起点&終点として、環境省が「一本の歩く道」としてつないで、沿線4県と28市町村、そして地域に根ざす団体等の連携で運営されています。

この道を長く後世に残していくために6つの憲章が定められていて、私はそのうちの2つをとくに強く胸に刻んで歩いています。

「地域に暮らす人々とこの地を訪れる人々との間に心の交流が生まれる道とします」「震災をいつまでも語り継ぐための記憶の道とします」。

鉄道で片道を移動し、日帰りや1泊2日の〝尺とり虫方式〟を繰り返したり、一気に50日程度で歩き通したりと、歩きの楽しみ方も様々で、私は2年をかけて850㎞ほどを歩き、今年中の全線踏破をめざしています。

もちろん、足を進めながらでもネイチャーゲームを楽しんでいます。〈自然のかさねことば〉では、足元の〝カサカサ〟や夏蝉の〝ミーンミーン〟を感じ、ベンチに腰掛けての休憩では、〈雲見〉で流れゆく雲の移り変わりを見ながら水分補給をしたりします。

皆さんにもハイカーとして「みちのく潮風トレイル」を歩くことで、今後も被災地を元気にしていただければありがたいです。

News

日本シェアリングネイチャー協会理事会・総会報告

本年5月に令和4年度第1回理事会、6月に定時総会が開催され、以下の議案が承認されました。

●令和3年度事業報告
●令和3年度決算

正味財産増減計算書　（単位：円）

科目	令和3年度
一般正味財産増減の部	
1.　経常増減の部	
（1）　経常収益	
基本財産運用益	412
受取入会金	255,500
受取会費計	27,910,500
公益目的事業収益合計	47,780,837
受取補助金等計	2,212,000
受取寄付金	1,166,153
雑収益計	25,823
経常収益計	79,351,225
（2）　経常費用	
公益目的事業費計	74,822,890
管理費計	5,725,071
経常費用計	80,547,961
当期経常増減額	△1,196,736
2.　経常外増減の部	
（1）　経常外収益計	0
（2）　経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△1,196,736
一般正味財産期首残高	48,054,073
一般正味財産期末残高	46,857,337
正味財産期末残高	46,857,337

●地域実践団体の解散
　香川県：さぬきっ子高松ネイチャーゲームの会
●第10回定時総会の議案

専門委員会報告

■指導者養成委員会―6月17日(金)
◆委員長の選出
◆インストラクター認定二次審査
◆トレーナー認定一次審査
◆トレーナートレーニングコースについて
◆指導者養成規程の変更の検討

■安全対策委員会―7月12日(火)
◆委員長の選出
◆2022年度安全対策委員会事業計画
◆発行物での安全対策の取り扱い
◆ヒヤリハット報告の共有

■アクティビティ開発認定委員会―7月25日(月)
◆委員長の選出
◆第1次審査

日本シェアリングネイチャー協会事務局・ネイチャーゲームショップ年末年始休業のお知らせ

2022年12月29日（木）～2023年1月3日（火）

自然あそび情報がスマホに届く!! 公式LINEできました！

あなたのスマホに自然あそび情報やネイチャーゲームアイテムが届きます！ QRコードを読み込み、LINEの"友だち"に追加してください。

●アカウント名：日本シェアリングネイチャー協会
●ID：@979bwixf

あなたの家で眠る「お宝」を社会貢献に！

皆様のご家庭で眠っている不用品をお送りいただくと、査定額が日本シェアリングネイチャー協会に寄付されます。

対象となる「お宝」は、ピアノや骨董品、未使用のはがきなど幅広いです。

会員の方には本誌に案内チラシを同封します。会員以外の方は下記までお問い合わせください。

jimukyoku@naturegame.or.jp(担当：渡辺)

ネイチャーゲーム リーダーのあるある

自然界の「食う食われる」の関係にせまる〈コウモリとガ〉。思い切り動いたり、素早く動いたりと体力が必要な活動のためか、実践数が減少傾向とのうわさが…?!

マンガ／がみ

ネイチャーゲーム〈コウモリとガ〉とは…

目隠しをしたコウモリ役1人が、壁役が囲う円の中で、ガ役（2～5人）を追いかけるネイチャーゲーム。コウモリ役の「バット！」の声に、ガ役は必ず「モス！」と答えることで、超音波を使った捕食を疑似体験できます！

〈コウモリとガ〉の情報はこちら

読者プレゼント！ Present

応募締め切り：2022年11月15日

アンケートに答えてゲットしよう！

❶ piro piro piccolo著『なつのやまのとり』 2名様

特集で紹介した piro piro piccolo さん執筆&大武美緒子さん編集の一冊。piccolo さんならではの視点で描かれた、個性豊かでかわいらしい鳥たちが、あなたを新しい風景へといざないます。
（1,760 円税込／山と渓谷社）

❷ 盛口 満著『コンビニ好きな虫のふしぎ ゲッチョ先生の夜の虫コレクション』 2名様

ゲッチョ先生こと盛口 満さんの記念すべき100冊目！ 所狭しと描かれた虫たちのイラストが索引にまではみだし、ゲッチョ先生の留まることを知らない「虫愛」が溢れています。
（2,200円税込／少年写真新聞社）

❸ 写真家ユニット・うみまーる2023カレンダー「ちゅら海のなかまたち」 5名様

シェアリングネイチャーの仲間でもある水中写真家ユニット「うみまーる」。沖縄の座間味を拠点に、海の自然を守る活動にも精力的に取り組む、彼らならではの写真と言葉で綴る12ヶ月。
（990円税込／うみまーる企画）

アンケートは

◆HPから（右記より）
https://www.naturegame.or.jp/
◆メール・FAXでも
kawauso@naturegame.or.jp
FAX 03-5363-6013

メール・FAXの場合は下記をご記入ください

【アンケート項目】
1. お名前　**2.** ご住所（会員番号）　**3.** 本誌の評価（A.とても良い／B.良い／C.普通／D.良くない）　**4.** 良かったコーナー　**5.** プレゼント希望（❶／❷／❸）　**6.** ご意見・ご要望　**7.** 本誌をどこで入手しましたか？

自然を楽しむグッズがいっぱい！ ネイチャーゲームショップ 検索 click！

自然から元気をもらう

ジョセフ・コーネルの Sharing Nature Wellness

シェアリングネイチャーウェルネス

〈空を飛ぶ鳥〉

イラスト／いのうえみさお

このエクササイズは、人々の地球への愛を呼び覚まし、その気持ちを強め、それを守ろうという気持ちを起こしてくれます。〈空を飛ぶ鳥〉を野外で歌うと、鳥が飛んできて近くの木に止まり、元気にさえずることがよくあります。

このエクササイズを行うには、自然の美しさがみなさんの心を高めてくれるような場所に行きます。身ぶりをまじえながら一行ずつ歌詞を口ずさみ、その意味を味わい、その感情をあなたの周囲に向けて広げていきます。たとえば、「そびえる木」と歌う時は、あなたの近くの木との親近感を感じてください。

参加者の心を一つにして、自然の生きものたちとの一体感を共有することができる〈空を飛ぶ鳥〉は、野外活動を締めくくるうえでも、とてもすばらしいエクササイズです。

羽ばたけ空の鳥 野に咲く花 そびえる木
仲間たち 山 川 心にいつも
母なる大地 空にとどけ 愛と夢
すべてのいのちに注ぐ
この私の愛 この私の愛

Joseph Cornell
1950年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て1979年『Sharing Nature with Children』発表。以後、世界的なナチュラリストとして活躍。当協会名誉会長。

「The Birds of the Air」の動画

11月11日(金)はダックコールの日

抽選で3名様に **ダックコール** をプレゼント!!

●ダックコール ●カラス笛 ●シカ笛 ●プレデターコール ●ダックコールミニ ●グースコールミニ の6種から好きなものを1つ

プレゼント応募手順：
❶日本シェアリングネイチャー協会のFacebookまたはTwitterをフォロー。
❷11月11日11時にアップされる投稿をシェア(Facebook)またはRT(Twitter)する。
応募締切:11月14日(月)23時59分
備考:当選者には11月15日(火)に日本シェアリングネイチャー協会アカウントからDMが届きます。

www.toto-dream.com www.toto-growing.com
19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。
運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

設置店募集！ ご連絡ください！

シェアリングネイチャーライフ Vol.37 通巻118号
発行日 2022年10月15日
発行人 日置光久
発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-13-17
ワークスナカノ2階
Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013
メール jimukyoku@naturegame.or.jp
編 集：藤田航平・豊国光菜子、校條 真（風讃社）
デザイン・DTP：花平和子
表紙イラスト：矢原由布子

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

編集後記

特集の取材以降、保育園帰りの次男と鳥探しを楽しんでます！「鳥が好き」で世界が変わったのを実感！（藤田）

スポーツくじ toto BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています